

ビジネス開発グループ業種別運営委員会 ヘルスケア部会を設立しました

2025年4月16日（水）、日本中華總商會ビジネス開発グループ業種別運営委員会は、「ヘルスケア部会」の設立式を開催いたしました。

開会にあたり、評議員会会長の厳浩氏、常務副会長の段卓氏、ヘルスケア部会部会長望月敏行氏が登壇され、部会設立の意義と今後の展望についてご挨拶を述べられました。



続いて行われた講演では、5名の業界代表が登壇されました。庄曉桐氏（EPSホールディングス）は、「国境を越えた健康の架け橋—日中医療交流の深化」と題して、今後の国際医療協力の可能性について語られました。奥仲哲弥氏（山王病院副院長）は、「低侵襲化・パーソナライズ化するがん治療」をテーマに、最新のがん治療法について解説されました。嘉村洋志氏（中日黒ロコクリニック代表）は、「日本オンライン診療の現状とインバウンド医療」と題し、遠隔診療制度の現場からの視点を紹介されました。山本崇弘氏（コントアクリニック東京院長）は、「骨格から人生を変える—日式全顔“小顔”整形の最先端」と題して、美容整形分野最新の取り組みを紹介されました。小笠原均氏（JTKクリニック院長）は、「120歳まで生きる治療戦略」をテーマに、抗加齢医療や長寿社会の実現に向けた戦略を提案されました。

最後に、常務副会長の徐志敏氏より閉会のご挨拶があり、持続的な連携強化の重要性が改めて強調されました。今後は、業界間の連携強化、先端技術の共有、健康意識の向上を目的とし、定期的活動を展開してまいります。

